

武雄市立武雄中学校学校便り

叶 武



NO. 9 令和元年6月25日

〒843-0024

武雄市武雄町大字富岡11606番地

TEL 0954-22-4105

文責 校長 熊野辰未

学校教育目標 「高い志と誇りを持ち、心豊かで輝く生徒の育成」

昨年の梅雨入りは6月5日で「梅雨入りはしたものの空梅雨なのか雨の日が少ないように思われます。」と昨年の6月15日発行の学校だよりには記載しています。今年は、未だ北部九州の梅雨入り宣言はなされておらず、水不足が心配されています。田植えの時期にこうも雨が少なくて大丈夫なのか。明日からの天気予報では傘マークが出ており、いよいよ湿度が高いじめじめした梅雨入りかなと思います。体力を消耗しますので、心身の健康にご留意ください。

《武雄市連合PTAスポーツ大会 武雄中パート優勝》

去る6月22日（土）に武雄市連合PTA主催のスポーツ大会が、白岩体育館で行われました。武雄中チームは、5校の亀の甲リーグ戦で武雄北中学校と朝日小学校との2試合を行いました。第1試合は、武雄北中学校戦でした。危うい場面もありましたが、セットカウント2-0で勝利しました。第2試合は、朝日小学校戦でした。この試合もセットカウント2-0で勝利しました。手に汗握る試合で応援部隊も声を張り上げ精一杯応援をしました。とても素晴らしい試合となりました。選手みなさんもそうですが、応援のみなさんも含め素晴らしい活躍をしていただきました。結果はパート優勝。あとの反省会も大いに盛り上がり、来年も優勝し、三連覇を目指そうと誓い合ったところでした。事前の練習会や大会当日まで、様々なご支援ご協力とお世話をいただきました母親部の皆様方に感謝申し上げます。ありがとうございました。大変お疲れ様でした。



《「ありがとう」についての話》

「ありがとう」は、私たちが感謝の気持ちを表すときの言葉です。そして、お互いを心地よくする魔法のような言葉です。

私たちは、一人で生きているわけではありません。家族や学校、社会の中でお互いに

助け、支え合いながら、多くの恵みを受けて生きています。それらに対して積極的に感謝の心を表していくことが、喜びの多い幸福な人生を築いていく秘訣ではないかと考えます。人は幸せだから感謝するのではなく、小さなことにも感謝するから幸せになれるのです。幸せを願うならば、小さなことにも感謝できる感性豊かな人間になりたいと思います。

ところで、「ありがとう」の反対語は、何だと思いますか。「ありがとう」は漢字で「有り難う」「有り難し」と書き、あることが難しい。滅多にない、まれなこと、珍しく貴重なことを表しています。その反対の言葉は、「当然」「当たり前」。

私たちは、毎日起こる事柄を当たり前だと思って過ごしています。

生まれてきたのが当たり前。目が見え、耳が聞こえ、手足が動くのが当たり前。

毎朝目が覚めるのが当たり前。食事ができるのが当たり前。

友達にいつも会えるのが当たり前。いつも温かく支えてくれる家族がいることも当たり前。

好きな運動が出来るのが当たり前。生きているのが、当たり前。

「ある朝、ある人が母親とけんかをして家を出た。2時間後に学校に連絡が来た。すぐ病院に来るように。母親が交通事故に遭い、救急車で病院に運ばれ、帰らぬ人となってしまった。」それから、その人は、なぜ、あの朝けんかをする事になったのか。ずっと悔やんだという。なぜ、あのとき、笑顔で感謝の言葉で「行ってきます」と言えなかったのか・・・

誰でも、今日と同じことが明日も繰り返されると思っています。友達と会い、授業を受け、給食を食べ、話し、笑い、部活動をして帰宅する。このような当たり前だと思うことが、本当は奇跡の連続だということです。

生きて、出会うという奇跡の連続に「ありがとう」を言いたいと思います。

「ありがとう」は

○すてきな笑顔をつくれます。 ○相手を認め、みんなを勇気づけます。

○まわりの人を和やかに豊かにします。 ○おかげさまと言える心をつくれます。

○あなたの夢と希望をはぐくみます。

「ありがとう」と言うことができるようになりたいと思います。

《義を見てせざるは勇無きなり》

「義を見てせざるは勇無きなり（ぎをみてせざるはゆうななきなり）」（出典『論語』）とは、「人として行うべきことを行わないのは、それをするための勇気がないからだ」

「義」とは、儒教の五常（義・仁・礼・智・信）の一つで筋道の通った正しい行いのこと。

「彼がいじめられているのを知って、知らぬふりはできなかった。たとえ自分が巻き込まれても、義を見てせざるは勇なきなりという言葉に貫くべきだと思ったから」